

# (仮称)自治基本条例を考える会

## (会議要旨 第6回行政分科会)

日 時：平成20年 8月31日(日) 13:30～15:30

場 所：尾西生涯学習センター 5階 会議室C

出席者：自治基本条例を考える会委員 11名

ファシリテーター 吉村 輝彦

事務局(企画政策課職員) 2名

### 枠組みと項目

大項目	行政
小項目	政策法務

### 会議のまとめ(確認事項)

「政策法務」の項目について、提言において積極的に取り上げていくべきかの確認があり、改めて、提言に位置づけることが確認された。

### 議論のプロセス

- ・政策法務については、具体的な例を示すと分かりやすい。
- ・ゴミのポイ捨て、放置自転車、ペットのふんなどは、モラルや道德の問題ではあるが、当たり前のことを、当たり前にするにもいると思う。

### 枠組みと項目

大項目	行政
小項目	法令遵守と公益通報

### 会議のまとめ(確認事項)

「公益通報」について、前回のまとめにもあるが、提言に位置づけることが確認された。

### 議論のプロセス

- ・「法令遵守」については、職員は法令遵守すべきである。
- ・現状として「公益通報」に関する要綱はあるとのこと。

### 枠組みと項目

大項目	行政
小項目	財政運営の諸事項

## 会議のまとめ（修正事項）

議論のプロセスに追加すること。

### 議論のプロセス

- ・旧尾西病院の事例を考えると、「残すことを考えた上で方策を考えること」と、「財政面から考えること」をどのように両者を考えていったらいいか悩ましい。
- ・単なる反対から市民が主役のまちづくりの考えていくと、今までとは違った関わりも必要になる。
- ・政策順位を考えていくためにも、現状をしっかりと理解することが必要である。情報公開や開示も必要だが、同時に、分かりやすい説明が求められる。
- ・財政規律や効率性だけで判断していいのかという感じはある。

### 枠組みと項目

大項目	国その他の機関との連携
小項目	市外の人々との連携 自治体・国等との連携協力

## 会議のまとめ

一宮市が、孤立して問題に取り組むのではなく、様々な連携によって取り組むことが必要である。

### 議論のプロセス

- ・ふるさと納税の活用のあり方を検討すること。
- ・市外の人や団体との友好や交流など大いに大事にしたいが、何でもすべて受け入れるのではなく、互いの関係の中で考えていくことが大事。
- ・災害時などは、まさに連携・協力が必要になる。
- ・産業（商工業）における横の連携なども必要になる。
- ・身近な問題から国際協力まで連携の分野はある。
- ・分野によっては、広域連携の仕組みも必要である。

### 枠組みと項目

大項目	実効性の確保
小項目	推進・評価の為の市民委員会 進捗状況の公表

## 会議のまとめ

自治基本条例の実効性を確保する仕組みが必要である。

既存の個別条例や要綱、また、新しく制定される条例が、自治基本条例と適合しているか、整合性があるかをチェックする必要がある。また、その進捗状況を適切に公表していく。

そのために、市民が参加する常設の推進委員会を組織する。

推進委員会は、個別条例や要綱の整合性などについて、市長に提言を行う。

推進委員会には、必ず市民がメンバーとして参加する。

### 議論のプロセス

- ・推進委員会は、市長から委嘱されて、その役割を果たすのかなど、市長との関係をはっきりさせる必要がある。
- ・推進委員会と議会との関係は、しっかりと検討する必要がある。
- ・推進委員会の人員構成、メンバーの選出方法（任命、公募）なども検討する必要がある。
- ・例えば、「考える会」のメンバーは、複数名参加すべきである。あるいは、新たな視点や別の角度から自治基本条例を見ていくためにも、新しいメンバーも必要である。
- ・推進委員会のメンバーは、ボランティア的な関わりでいいのか。必要な報償や交通費などの支給をどうするかも検討する必要がある。
- ・この推進委員会が果たすべき役割や機能は明確に規定する必要がある。例えば、後述する、自治基本条例の見直しまでも担うのかなど。

### 枠組みと項目

大 項 目	実効性の確保
小 項 目	条例の検討・見直し

### 会議のまとめ

自治基本条例の見直し規定は、必要である。

条例の見直し期間を定める必要がある。

例えば、見直し期間として、5年は目安としてある。同時に、社会情勢に応じて、適宜見直すことも必要である。

見直し規定は、常に条例をよりよくしていくためにも、また、どのように定着を図っていくためにも、さらに、社会情勢に対応するためにも、必要である。

### 議論のプロセス

- ・見直しをどの組織で行うかについて検討する必要がある。